

うま えが
馬を描こう！

うま りかい
馬のからだを理解する



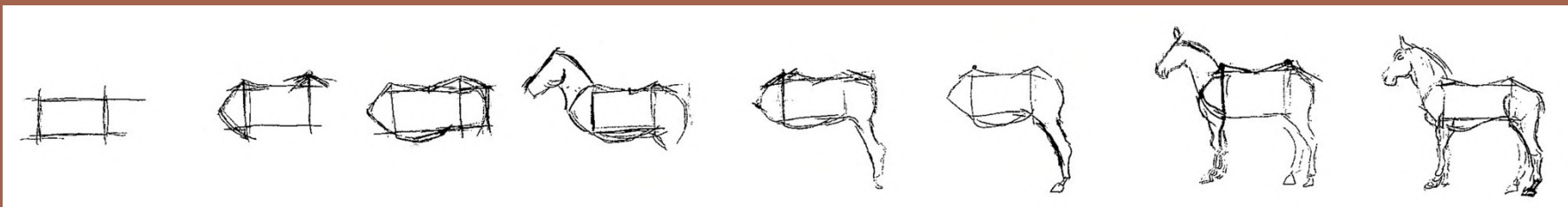
やまうち わかな
山内 若菜

© Fuchu Art Museum 2021

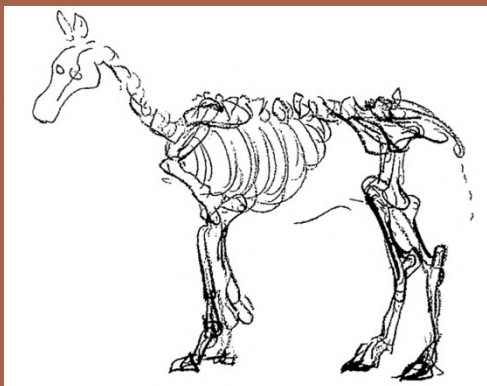


しかく かんたん うま えが

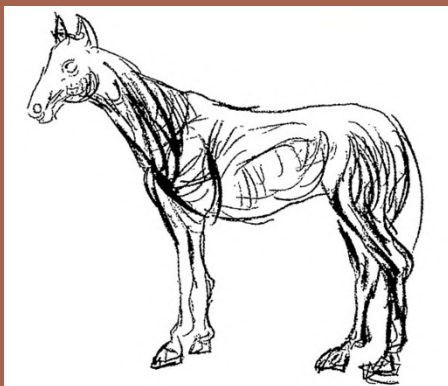
四角から簡単に馬を描こう



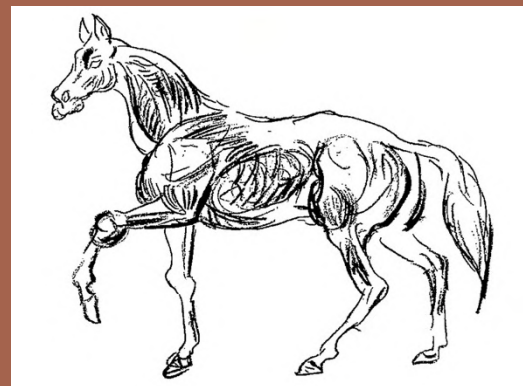
骨格



表面



筋肉



ざいりょう どうぐ 材料・道具

- ・画用紙 1枚
- ・水彩色鉛筆（黒色、鉛筆2Bでも代用可） 1本
- ・ぬれティッシュ 適量
- ・紙やすり 1枚



うま

りかい

馬のからだを理解する

馬を捉えようと研究してみよう。馬は美しい生き物とされていますが、自分は馬についてどれくらい知っているかな？動物を描く喜びと発見を♪



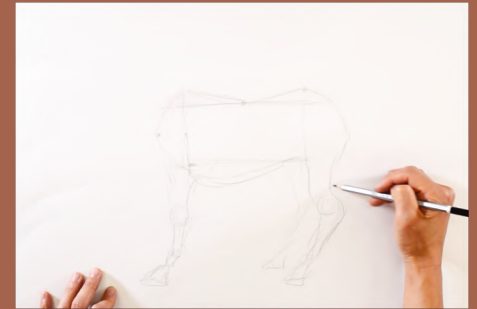
1. 長方形を描く

- ・はじめはうすい線で。
- ・角の線は伸ばす。



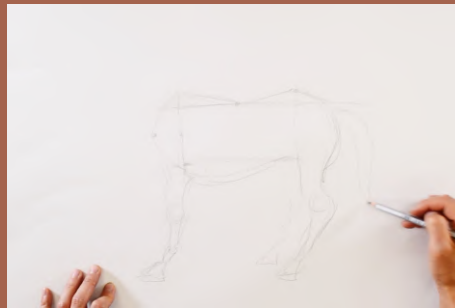
2. 胴体を描く

- ・線の中心や角の延長線をむすびながら、胴体を描く。
- ・胸と腰のふくらみをつける。



3. 足を描く

- ・前足は、左下角より前方の位置に、関節、ひづめまで描く。
- ・関節は、前足より後足が上になる。
- ・奥の足はうすめに描いておく。



4. しっぽを描く

- ・しっぽは、右上の延長線より、やや下から出ている。



5. 首・頭を描く

- ・胸のかたまりから、首を描く。
- ・頭を描く、頭頂の角度は90度ぐらい。
- ・頭と首の長さはほぼ同じ、首のほうがやや長い。



6. 耳・鼻・口・目など、細かい部分も描く

- ・あご、そして頬骨のふくらみを描く。
- ・目は上のほうに、ちょっとたれ目で。



うま

りかい

馬のからだを理解する

実際に出会った馬への感動をもとに、描いてみよう。
馬の彫刻、写真、ミニチュアの人形、解剖学の本なども参考に。



7. だんだん濃く描いていく

- ・筋肉の流れを意識して。
- ・馬への感動をいきいきと描いていく。
- ・描く中での、発見を大切に。



8. 影をつける

- ・胸、お腹、腰、首の境目を意識しながら。



9. ぬれたティッシュでこすり、毛並みをつくる

- ・水彩色鉛筆の水で溶ける特性を活かして、色々なタッチを試してみよう。



10. 紙やすりでこする

- ・違ったおもしろさがでる。



11. 表情を描く

- ・馬に想いをはせながら。



12. 仕上げる

- ・強調したいところを濃く描く。

仕上げたら… 完成！